



けんりつほくぶぐえん  
県立植物園



# おさんぽマップ



No. 55

～ユキツバキは新潟県の木に指定されています～

バックヤード温室 (非公開)



## ① ツバキ園 (ツバキ科)

当園では、萩屋薫元新潟大学名誉教授により作り出されたツバキの交配種や、ユキツバキ・マブツバキの品種を植栽しています。

ツバキはもともと種子から油を取るための有用植物でしたが、江戸時代には観賞用の品種改良が始まり一重・八重・絞りなど多彩な花の姿を楽しむことが出来ます。

～花はとても良い香り～

## ⑤ マホニア・チャリティー (メギ科)



葉はヒイラギ 実はナンテンに似ているので「ヒイラギナンテン」とも呼ばれています。

## 冬芽を探してみよう!

- 冬芽: 冬の樹木に見られる休眠状態の芽のこと
- 葉痕: 葉のついていた跡
- 芽鱗: 寒さや乾燥から芽を守る小形の葉
- 維管束痕: 水分や養分の通りの跡

～冬芽が帽子のように見えます～



維管束痕

## ② アジサイ (アジサイ科)

葉痕は大きく、維管束痕が3つあり目と口のように見えます。芽鱗をもたず、芽がむき出しになっています。(裸芽)



～冬芽は赤い芽鱗をもちカニのハサミのように見えます～

## ③ カツラ (カツラ科)

秋にはハートの落ち葉から甘い香りがしてきます。これはマルチールという香気成分によります。



～葉痕は猿の顔のように見えます～

## ④ ハリエンジュ (マメ科)

冬芽は葉痕の下に隠れています。(隠芽) 5月～6月に白い花が咲き甘い香りがします。



## ソリ・雪遊び場

- 危険防止のため芝生広場の決められたエリア内で遊ぶ下さい。
- ★池に近づかない
- ★植物を傷めない
- ★足元・頭上注意

芽鱗は密な毛におおわれる